

障害福祉分野の ICT 導入モデル事業における導入事例

法人名 社会福祉法人 手をつなぐ高岡
事業所名 就労継続支援 B 型（ワークスタかおか、
ワークスいちのせ、たから事業所、ワークステんもく）

1. 事業の概要

就労系事業所の工賃向上に向けた取組を支援する国の「工賃向上 ICT 機器導入助成制度」を活用し、法人内の就労継続支援 B 型事業所 5 か所にタブレットを 1 台ずつ配置することができました。

2. ICT 機器の製品名 タブレット 10.9 インチ Apple iPad Wi-Fi+Cellular モデル 64G 5 台

3. ICT 機器導入前の課題及び効果

- ・ これまでは、5 つの B 型事業所でバラバラに受注活動を行い、データ管理していた面もありましたが、データベースを共通化することで、受注をいただいている、あるいは受注可能性のある受注先のデータを共有することができました。
- ・ 受注先や受注いただける作業内容、各種作業の工賃実績や訪問先とのやりとりを共有することで新規開拓の効率化や仕事のやりとりが進み、企業訪問の効果がより発揮できるようになりました。
- ・ 既存のパソコンなどの ICT 機器に加え、今回のタブレットの追加により、当法人内の就労関連のデータの一体的管理や共有が格段に進み、法人全体で工賃向上に取り組む体制づくりができました。

4. 取組みの特色

- ・ データ共有のツールとして 「グーグルスプレッドシート」ソフト（EXCEL に類似）をタブレットにインストールし受注関連データを入力と同時に法人内で共有できる仕組みとしました。
- ・ タブレットの録画機能や再生機能を使って、実際の作業手順を記録し、利用者さんの仕事の習得や訪問先でのプレゼンテーションに活用しました。

5 活用状況



ほうれん草の摘み取り



装飾用フラワーの乾燥工程



作業手順習得などを通じ ICT 体験



ipadWiFi+Cellular モデル 5 台

6. 今後の課題

- ・ パソコンやタブレット等の ICT 機器の導入により、事業所間の連携を強化し、工賃向上に音声入力機能、面談の際の説明資料作成など最新機能の習熟度を高めたい。
- ・ 本法人は、10 事業所を擁するため、各事業所との情報共有、情報交換をより充実し、利用者サービスを向上させたい。